

第58回 輝菫祭を終えて

皆様、第58回輝菫祭に参加して頂き、誠にありがとうございます。今年度も多くの学生・教職員の方々、また仲間の大学祭実行委員会のスタッフを始め自治会、体育会、文化会、報道会の方々のご理解とご協力の下、第58回輝菫祭を行うことが出来ました。今年度は「ぶらり、途中下車」というテーマの下、11月22日～24日の3日間、第58回輝菫祭を行い、約5,000人という多くの

方々に来て頂くことが出来ました。輝菫祭に来られた方には、大学の側を通り掛かった時に大学祭の雰囲気を感じて来られた方もいらっしゃるのではないでしょうか。また、来られた方もんびりと輝菫祭をお楽しみ頂けたことと思います。最後に改めまして、第58回輝菫祭にご参加頂き、本当にありがとうございました。記事：大学祭実行委員長 国安 雅也

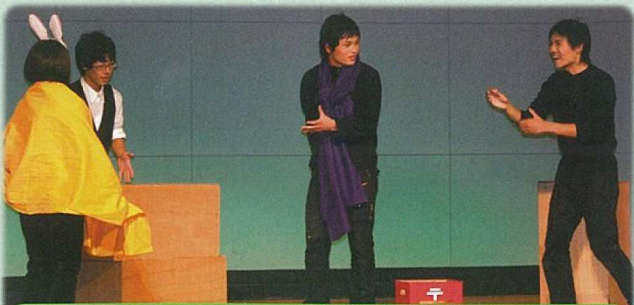
第58回輝菫祭中に実施された、学生企画活動支援事業の紹介を、今回と次回の天乎雲の2回に分けて紹介します。



世界の子どもとつながろう

今回、「一步」をキーワードに、アジアの子ども写真展と講演会を企画しました。私たちがアジアで感じてきた「一步」を踏み出す勇氣「出逢った子どもの輝き」を、言葉や写真で表現しました。また、「フィリピンの子どもにXmasカードを送ろう」という参加型の企画も行いました。アジアを身近に感じてもらうと、日本からはXmasカードを送り、フィリピンの子どもたち（児童養護施設、障害者施設、ストリートチルドレン）からは年賀状が届きます。講演会は、NPO法人ACTIONの横田宗氏に来ていただき、これから「一步」を踏み出すヒントをいただきました。学生が印象に残った言葉として、「新たなものを創造していく広い視野の必要性」、「子どもにとって、夢を語れる存在＝自分が誰かの「一步」になるきっかけになること」が挙がりました。今回の企画に賛同してくれた仲間、来ていただいた方と共に、人のつながりの素晴らしさを、再確認することが出来ました。

教育・発達基礎コース 4回 後藤 慶子



今、演劇から解き放ち、新しい自分の〇〇〇に出逢う

舞台工房KATEにとって3度目となる今回の公演は爽りの多いものとなりました。私たちは、公演までの間「一つのお題から劇を即興で作る」という練習のなかで、約200本もの「物語」と出会いました。「稽古場」はいつも「本番」で、そこから生まれるものは全てが新鮮でした。また、舞台設定、役者の表現、小道具や音楽、照明のひとつひとつが、今回の企画のコンセプトであった自分の生き生きとした「〇〇〇」であり、大切な「魂」の音や色、姿として感じられるものでした。最後になりましたが、今回の公演に際して、協力をしてくださったみなさん、そして舞台を共に作ってくださった観客の皆様、本当にありがとうございました。

記事：芸術文化コース 4回 清水 香織

Let's リサイクル

今年、大学祭における新たな試みとしてリサイクル事業を行いました。世の中でゴミの削減・リサイクルがさわがれている今、大学祭という中で何か行えないかと考えた結果、模擬店のトレーをリサイクルしゴミを削減しようとなりました。実際にリサイクルトレーを導入した結果、ゴミの量は目に見えるように減り、同時に行ったイベント「リサイクルセンター」（トレーをリサイクルしていただいた方に抽選で景品をお渡しする企画です）も大好評でした。こういった新しい企画の成功は今後につなげていく希望となりますので、大変うれしく思っています。よろしければ、皆さんも大学祭における新たな試みを考えていただけると幸いです。

記事：科学情報教育コース 3回 国安 雅也

リサイクルセン



自作PC相談室

学生企画活動支援事業として認定を受けている「自作PC相談室」の活動として、大学祭中に展示を実施した。結果としては、訪問者は少なく満足のゆく成果を上げられなかった。企画の代表者である私一人の活動なので、出来る範囲に限られていること、私用で展示期間が大学祭最終日しか設けられなかったことが原因である。後日、連絡を受けた中では学外の方で楽しみにしていたが、都合が合わなくて残念だったという意見も頂いており、申し訳ない思いを抱えている。活動としては中途半端になってしまったけれど、この企画とは関係なくコンピュータについての知識を気軽に手に入れられるようなサービスを具体的に人の目の付く所で展開してみたいと思う。

記事：大学院 2回 田井 昌輝



Art navi あーとなび

アートナビは「展覧会」をテーマにしたイベントです。展覧会予定に加え美術館の便利な利法や鑑賞マナーも掲載した冊子は、多くの人に手に取って頂きました。子供向けに行っていた版画のワークショップでは私たちの予想を超えた素敵な作品を沢山作ってくれて、子供達のポテンシャルに驚かされました。図録や展覧会チラシを見ながら美術の話をして下さる方もおられ大人から子供まで幅広い層の方に楽しんで頂けたと思います。

記事：文化財コース 3回 大野 子織